



JICA中部は皆様の 海外ビジネス展開とSDGs貢献をサポートします！

特定フロンガスの全廃に向けマレーシアで回収事業

回収システムの未整備 技術者不足など課題が山積

当社は高圧ガスの製造業者としてフロンガスの販売だけでなく回収から再生・破壊処理に至る一連の事業を行っています。オゾン層破壊や温暖化効果が問題視されるフロンガスの国際規制により、先進国ではオゾン層を破壊する物質が含まれるHCFCが全廃され、途上国でも2030年までに原則全廃することになります。モントリオール議定書キガリ改正により、先進国では19年から地球温暖化係数の高いHFCの段階的削減も始まり、24年には途上国でも削減が始まります。マレーシアでもこれらに対応するため、法制化や回収処理を進めようとしていますが、回収業者が少なく大気中への放出も未だ続いており、当社の技術を活かす事業機会と捉えています。

JICA事業採択を受けて15年から19年に現地調査や実証事業に取り組みました。回収・再生処理の必要性を訴えたセミナーには行政関係者以外にも大学やガス業者などを中心に約400人が集まり問題意識の高さを実感しました。そして、回収・処理システムの未整備や技術者不足といった現地の実情に対応すべくマレーシア進出を決断し、18年に現地法人を設立しました。

2024年には途上国も削減対象に 見込まれるASEAN諸国での回収再生需要

設立した現地法人はフロンガス回収機、再生機、分析器の販売事業を展開しています。また、機械単体の販売だけでなく回収作業の全工程を実習できる研修用設備(海上コンテナを改造)を現地の工業大学の求めにより納入しました。ここで育成したマレーシア人技術者が自国のみならず、他のASEAN諸国のフロン回収現場で活躍することを期待しています。

政情の不安定さから規制法の施行が遅れるなど一企業では対応できないハードルもありますが、今回の海外進出は若手社員のモチベーション向上や営業力強化など、日本国内での事業にも好影響をもたらしています。JICA事業の実施を通じ、慣れない海外でじっくり腰を据えて一つの事業に取り組めたのも貴重な経験でした。

24年の途上国の削減開始により、フロンガス資源の有効活用は必須となり、環境保護の面からも回収・再生処理のノウハウは世界で必要とされます。当社の技術を活かすべく、今後も広めていきたいと思っています。



▲現地職業訓練校教師に対しフロン回収技術の講習を実施

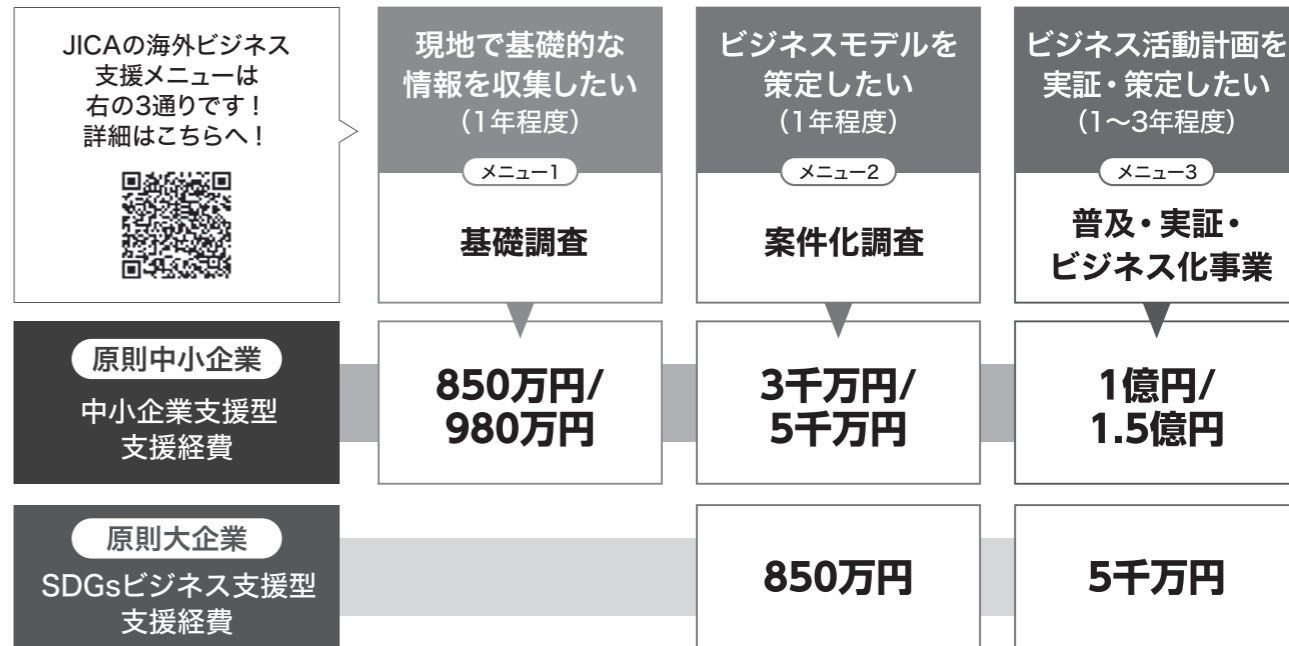
JICA事業で目指す SDGs GOALS



TAIYO 太洋商事株式会社
愛知県名古屋市中川区富田町千音寺宇鳥帽子275
代表取締役 **堀 慎治**さん

JICA「中小企業・SDGsビジネス支援事業」

1,100社以上にご活用いただいています！リモートでの調査実施も可能です。



※上記金額は上限金額となります。

次回公示予定

公示日 **12月1日** 水 締切日 **12月27日** 月 正午

【事前登録締切】12月13日(月)正午 【採択通知】2022年3月下旬

事前の個別相談を
11月末まで
随時受け付けます。
お気軽にご連絡ください！

問い合わせ **TEL.052-533-1387(直通)** JICA(ジャイカ)中部 企業連携課
✉cbictps@jica.go.jp